

令和4年度東淀川区区政会議第2回安全・安心・まちづくり部会 会議録

1 日 時 令和5年2月22日（水）午後7時から午後9時

2 場 所 東淀川区役所3階 区民ホール（WEB併用）

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議安全・安心・まちづくり部会委員）

上杉 知永子議長、藤野 進副議長、植原 孝廣委員、宇田 聖司委員、橋本 理香委員
（WEB）、濱田 和巳委員、村富 和広委員、矢森 茂一委員

（東淀川区区政会議教育・健康・福祉部会委員）

田原 佳織委員、山内 泰典委員

（東淀川区選出市会議員）

石川 博紀議員、橋本 まさと議員

（大阪府議会議員）

笹川 理議員

（東淀川区役所）

古川地域課長、川上総務課長、岡田総合企画担当課長、奥野安全安心企画担当課長、吉矢企画調整担当課長、上村窓口サービス課長、大橋地域課長代理、南地域課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）令和5年度東淀川区運営方針（案）について

（2）令和5年度東淀川区関連予算（案）について

（3）その他

5 議事内容（発言者名及び個々の発言内容）

○南係長 すいません今、村富委員が来られましたので、一旦ちょっと発言おいていただけますでしょうか。事務局からのご報告なんですけれど、委員がWEBも合わせて8名と現在になりました。出席者数が委員定数の半数である8名に達したので、この時点で安全・安心・まちづくり部会が成立したことをご報告させていただきます。

議長より一言お願いします。

○上杉議長 ただいま事務局より部会成立の報告がありましたので、これより第2回安全・安心・まちづくり部会として進めさせていただきます。

○南係長 ありがとうございます。

話を中断させてすみませんでした。引き続きよろしく願いいたします。

○濱田委員 次に、経営課題5. 区民の役に立つ区役所があるまちなんですけども、区の駐車入場する道路がいつも駐車するときに詰まっているんですよね。その道が通れないと。その解決策、安全・安心というけど、一番足元の区役所に入るところの道路がいつも通れない状態なので、そういうことの解決をしてくださいというのが1つです。

それと職員の意識向上について。区をよくしたいのは当然で、どんな研修しているのかなということをお聞きしたいと。職員の意識、よくしたいと思う人を何か九十何%にするって、区の職員って公務員みんなそれでなかったらあかんのに、何かそうでない人ってどんな人なのかなというふうに、言葉尻捉えるようなんですけど、ちょっとそういう疑問を持ったので。

それと情報発信力の強化、広報紙の発行部数等の検討、SNS活用に頼るだけでいいのかというのが出ております。

それと、階段、エレベーターが充実しているがスロープも必要ではないか。表玄関のところです。そういうご意見です。

ここは以上です。

次に、経営課題4. 安全・安心のまちで、防災訓練のプログラム化はありますか、段階踏まえてということ。これは、防災訓練、各地元で、町会とか連合とかでやっているんですけども、コロナ禍があってできないところもあったんですけど、車の1段階、2段階、3段階みたいに何かステップアップするような、そういうプログラムのやつがアドバイスとしてあったらいいな。1がでけへんかったら2がでけへん、2がでけへんかったら3がでけへん、1でもこれだけできたらステップ進んでくださいということで、自分ところの地元のことの話になって恐縮なんですけど、いつも同じところでうろうろして、避難所はここですよということ教えるだけで何年も何年もやってきたというのがあるので、何かそういうアドバイスのようなことが、プログラムのなことがあればありがたいというのが1つです。

それと、地域別保健福祉計画・個別避難計画の進捗、定期的に知らせてほしいという。それと地域別の防災訓練の重要性が各地域、町会の認識に温度差があると、それをつくらないための働きかけはしてもらえるのかという。

それと、区政会議に警察の人を呼びますか。区役所と当然連携をしてもらっていると思うんですけども、直接言いたい項目がたくさんあるので、そういう機会がもしか取れるならということなんです。

以上です。

○上杉議長 ありがとうございます。

続きまして、B班、お願いいたします。

○矢森委員 B 班、豊里南の矢森です。

経営課題 1 のほうで、1 - 2 のにぎわいのあるまちのほうでは、YouTube使ったりして小学校とか子どもを喜ばせたりとかターゲットにしてみてもどうかということと、子どもに参加してもらうためにはどういうふうに取り組をしたらいいかとか、こどもの目線に立った取組をしていって若い親御さんとかにも来てもらったらどうだという意見がありました。

1 - 3 のほうでは、西部まちづくりのほうでは、住民、実際住んでる方が将来自分たちのまちがどういうふうになるのか想像できるような提案をしてみてもどうかというお話がありました。

5 番目の区民の役に立つ区役所があるまちのほうでは、地活と区政委員の情報のやり取りをもう少しやってみてもどうかというお話と、あとは区役所とかで待たれている時間とか、民間のほうでも待たれている待ち時間に、広報とか営業活動をして見てもどうかというご意見がありました。

あとは、みらい E X P O を楽しみにしていますとかいうのがありました。

次が、経営課題 4 の安全・安心のまちのほうでは、4 - 1 の防災のほうでは、お互いの理解、ペットであるとかお子さんであるとか障がいをお持ちの方であるとか、自分、自分になってしまいがちだと思うんですけども、お互いを思いやる気持ち、お互いの理解が必要ではないかというご意見がありました。

あと、若い世代と一緒に防災訓練もするのはどうかというご意見ありました。

4 - 2 の防犯のほうでは、23 年 4 月の自転車の法改正があるので、ヘルメットの着用、努力義務ですけども、啓発活動であったりとか、児童、こどもの自転車マナーの啓発活動をもう少し強化してみてもどうかというご意見がありました。

あと、そのほかでは、予算のほうで、資料と予算の整合性をもう少ししっかりと書いて見てもどうかというご意見がありました。

以上です。

○上杉議長 ありがとうございます。

それでは、発表及び委員からのご意見につきまして、区役所から対応方針等の説明をお願いしたいと思います。

○古川課長 地域課長の古川です。

活発なご議論、たくさんのご意見、ありがとうございました。

全てのご意見にお答えできるかどうか分からないんですけども、まず、運営方針に人権の項目がないということでご意見あったかと思いますが、経営課題 1 から 5 に入れるものというよりは、人権なので全ての施策に関わるものと認識しております。ただ、言っていただきましたご意見、貴重なことだと思っておりますので、表記上そういったことができるかどうか、こ

の後、また区の中でも検討してまいりたいと思います。

それから、地域活動協議会補助金の事務の簡素化についてですけれども、今、地活協補助金の制度所管の市民局と各24区の実務者で構成されたワーキンググループができておまして、事務の簡素化についても検討をしております。本日いただいた内容についても議論の中には入っておりますので、いい方向で進むように区としても声を上げてまいりたいと思います。

それから、地活と町会の違いが分からないということで、この区政会議、部会の場でも何度もご意見いただいていると思います。地域活動協議会自体は各種構成団体からできた仕組みということで、まだ、委員おっしゃるようになかなか違いが分かっていないところは区役所の広報不足のところもございますので、いろんな媒体を通じてこれからも広報に力を入れてまいりたいと思います。

それから、もと西淡路小学校の活用についてというご意見があったかと思うんですけれども、これちょっと時間がかかっておまして、28年以降、もと西淡路小学校が廃校になって、その後、区のほうで地域の皆さんのご意見をいただきながら活用について検討をしているところがございますが、なかなか土地の、基本的には未利用地売却というのがあるんですけれども、活用、貸付けという方向性も今年度から出ておりますので、それも踏まえて地域の声を聞きながら進めているという状況でして、検討会議ができておりますので、その会議の後には資料やご意見等を掲載させていただいております。今後も広報には力を入れてまいりたいと思います。

それから、YouTubeの活用ですとかこども参加の取組、担い手不足で、そういったこどもさんと一緒に来る親御さんをターゲットにというようなご意見もあったかと思っておりますので、できることは取り入れてまいりたいなと思っています。

それから、みらいEXPO、楽しみという声があったので、ちょっと時間も押している中で申し訳ないんですけれども、来月、3月号の区の広報紙で出るんですけれども、3月21日の火曜日、祝日に、ここ区民ホールで午後1時から、東淀川みらいEXPO、東淀川LOVER's博覧会ということで、20団体、企業の方がこちらに集まって、いろんな、東淀川を愛して地域のために貢献しているという、得意分野をPRしたりする場になっております。多くの方に来場いただいて、それが担い手になる、地域住民だけの担い手というよりは、地域で活動する企業さん、団体さんなどもつながっていただいて担い手になっていただければと思っております、いい出会いの場、つながりの場になればいいと思っておりますので、ぜひ区政会議委員の皆様にも、広報のほう、お手伝いいただければと思います。

宣伝させていただいて申し訳ないですが、私からは以上です。

○吉矢課長 企画調整担当課長、吉矢でございます。

私のほうからは、西部地域のまちづくり、アクションプランについてご意見いただいたところについてお答えいたします。

住んでいる人が、まちがどうなるかイメージできるような進め方、やり方をさせていただきたいというふうなご意見でございました。コロナ禍で地域活動が止まって以降、地域のワークショップが開かれていない状態がありましたが、最近、第1回、第2回と開く地域も出てきた状況になっております。進める中で実際にイメージがつかないというご意見をいただいております。今後、イメージいただけるよう、区役所の広報、共有できるような資料について検討し、皆さんに、東淀川区西部地域がどうなるのか共有できるよう、取組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。

○奥野課長 安全安心企画担当課長でございます。

本日は、皆様から活発な意見交換をいただきまして、様々な貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

意見内容が、防災防犯、それから交通安全と多岐にわたる内容でございますので、それから個別避難計画、地域別保健福祉計画の関係につきましては、関係する保健福祉課とも調整してお返事をさせていただきたいと思っております。今日は、多岐にわたる内容でございますので、また改めましてご回答させていただければと思っております。皆さん方の意見を大事にしながら、今後の対応、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○岡田課長 皆さん、ご意見ありがとうございます。総合企画担当課長、岡田です。

私のほうからは広報の関係です。まず、広報紙の発行部数を検討すべきということで、区の広報紙を広く読んでいただけるように取り組むべきというご意見かと思っております。そのとおりだと思っておりますして、区役所もできるだけ手に取って読んでもらえる紙面づくりに力を入れて、新聞折り込みのみならず、個別配送、ご要望があれば個別にポスティングもさせていただくという取組をやっておりますので、個別配送のオーダーをいっぱいいただけるように、紙面づくりにまずは力を入れてやっていきたいと思っております。

あと、区政会議の関係で、地活と区政会議委員さんの橋渡しをというご意見もいただきました。今、委員さん、各地域で会議の内容とかを共有していただいていると思うんですけども、また委員さんからご要望があれば区役所のほうも何かしら対応を検討したいと思っております。

以上です。

○上村課長 窓口サービス課長の上村と申します。ご意見ありがとうございます。

私のほうからは1つ、マイナンバーカードで、区役所へ行くのがなかなか遠くて大変というご意見ございました。その後でも申請はしていただけるんですけども、なかなか難しいという方もいらっしゃいますので、今年度につきましては出張申請窓口ということで、お近くのところで申請ができるような事業もやっております。来年度もまた商業施設などではサポートをさせていただくようなことも聞いておりますので、またご利用いただければと思っております。

待ち時間に広報とか営業すればどうかということもご意見いただきました。毎日本当にたくさんの方の来庁者の方に来ていただいています。お一人お一人にお声がけというのがなかなか難しいところなんですけれども、マイナンバーカードにつきましては、テレビでマイナンバーカードの宣伝とかを映像で流させていただいたり、パンフレットとかも設置させていただいております。また何か効果的なものをと考えております。引き続きよろしく申し上げます。

転入者の方に広報紙も渡せばどうかというご意見をいただきました。今現在、転入者パックということで、広報紙はじめくらしの便利帳とか地図とかもお渡しさせていただいておりますので、引き続きさせていただきたいと思っております。

以上です。

○川上課長 総務課長の川上です。

区役所からの対応策につきましては私が最後になるんですけども、私からは、庁舎に関わる問題、職員づくりに関わる問題につきましてご説明をさせていただきます。

まず1つが、庁舎の駐車場に入る入り口に停車されている車があって通行ができないということで、対策はということでございます。区役所としましても、近隣の住民の方の迷惑になっているということで看板の設置をしたり、ひどいときには職員によります注意を行ったりですとか、また駐車場自体に複数の日にちにわたりまして長時間駐車をされている車等もございまずので、そういった場合には区役所に来庁された方なのかどうかということも確認をした上で、長時間来庁をされていない方の駐車をしないように注意をさせていただいたりと取組をしております。そういったことも続けながら、近隣の方の通行の邪魔にならないように努めてまいりたいと考えております。

あと、庁舎の正面玄関側にスロープ等がなくて、車椅子の方等が庁舎内に入るのに苦勞をするというようなことがあるというご意見をいただいております。こちらにつきましては、確かに車が通るところと歩行者が通るところに段があったりしますので、再度区役所のほうで点検をいたしまして、誰もが苦勞なく庁内に入れますように努めてまいりたいと考えております。

最後になりますが、職員です。区のために尽力をしたいという職員、それは公務員として当たり前ではないかというご意見でございます。区役所には、新規採用者ですとか、毎年他局や他の区役所からの異動者を含めまして東淀川区に新たに来られる職員の方が今の職員の1割以上の方が来られますので、地域のことですとか歴史のこと等も含めまして、東淀川区のよさを知っていただいて好きになっていただくということを日頃から上司のほうから伝えていくとともに、区役所の組織方針として区のために尽力をするんだという目標がございまずので、この目標を明確にいたしまして、上司が部下と思いを共有いたしまして、職員一人一人が尽力をするようにということで取組を行っているところでございます。

区役所からの対応方針等につきましては以上になります。よろしく申し上げます。

また、今回いただいた意見、また区役所から回答させていただいたもの、今回回答ができていないものもあるかもしれませんが、また改めまして文書にしまして皆様のほうにお渡ししたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○上杉議長 ありがとうございます。

本日の内容を3月13日の本会で私から報告させていただきます。

ご出席の議員の皆様よりご助言などございましたらお願いできますでしょうか。

まず、橋本議員様、お願いいたします。

○橋本議員 皆さん、どうも遅くまでお疲れさまでございました。

昨日、オンラインの会議の参加について、何かもう少しうまく参加してもらえるような形にしてもらえませんかという話をさせてもらいまして、早速取組をさせていただいていまして、すごい何かうれしく感じています。いろいろあると思いますが、ステップ・バイ・ステップ、よくしていけたらいいんじゃないかなと思っていまして、すごいうれしく見ておりました。

1点、私が今日追加で思いましたのは、昨日もそうなんですけども、参加されている方の数がやっぱりちょっと寂しいなという思いがありまして、定足数に立つ、立たないということ以上に4割、5割ぐらいの人が参加というのは非常に寂しくて、いろんな課題あると思うんですけども、多くの人と一緒に考えてもらったら、いい意見も、何か気づきもあるかもしれない、より出やすいでしょうし、かつどんな意見が出ようと出まいとやっぱり納得感にもつながりますし、一方で、参加されている方が少ないといい意見も出にくいですし、どんないい意見で、いい意見というか、決まったとしても、やっぱり納得感というか、共有感がどうしても少なくなってしまうというあれがあると思うんですけども。

という中で、経営課題の5-1ですか、のところの、ちょっとこれも本当意見でしかないんですが、アウトカムの指標のところ、区政会議、また部会の委員の方の参加者の出席率みたいなところを、過去、今どれぐらいの水準か分からないですが、もしそれが6割だとしたら、じゃ来年度は7割目指そうとか、今7割ですと8割とかいうような指標を1つ入れられるのはどうかなというのが思いとしてあります。そうすると、何か無理に、皆さん、参加とかじゃなくて、例えば皆さんが参加しやすい日の日取りをもうちょっと調整を考えると、多分そういう機運にもつながっていくんじゃないかなと思っていまして、そうしたところをもし皆さんでまた今後議論していってもらえたらなと思いました。

今日は遅くまでお疲れさまでした。

○上杉議長 ありがとうございます。

続きまして、笹川議員、ご意見お願いいたします。

○笹川議員 府議会議員の笹川です。お疲れさまです。

本当に、区役所の皆さん、昨夜の提案から早速ワークショップでもオンライン参加、セッ

ティングいただきましてありがとうございます。橋本議員もおっしゃっていましたが、トライ・アンド・エラー・アンド・トライですので、ぜひこれからも続けてもらえればと思います。

私から3点です。

まず、自転車のヘルメットの周知ですけど本当にこれ大事なことでして、この4月から努力義務がヘルメットも課されます、自転車運転中は。これ何でかといいますと、自転車事故自体は減ってきているものの、自転車同士や自転車と歩行者の事故というのはそれほど減っていない状況の中で、自転車でお亡くなりになる方の半分以上が頭部の致命傷によりお亡くなりになっているということで、頭部を守ることが非常に大事だということになります。

それから、亡くなった方の年齢構成を見ると、これまで努力義務であった65歳以上の方というのは5割を超えているんですけども、裏返すと20代、30代、40代、50代の4割の方が自転車事故でお亡くなりになっているということもありますので、こういった方々にもぜひヘルメットをかぶっていただいて、できる限りお亡くなりにならない、そして後遺症が残らない、そういったこと、そういった社会をめざしてこの条例を改正したいと、大阪府のほうで今、今日実はこの条例が府議会のほうで提案をされましたので、ぜひ皆様のご理解のほどよろしくお願いたします。

それから、西部のまちづくりですけども、新大阪駅周辺地域のことになりますけども、これに関しては、地域で住んでおられる方々にどんな未来を示していくか、非常に大事だと思っておりますが、一方で20年ぐらいかかっている話でもありますので、20年後だけではなくてより身近なまちづくりというのを示していく必要もあるのかなと思うんですが、ただ、東淀川区に住んでいると新大阪が中心というそんなイメージなかなか持っていないかもしれないんですが、実際は日本地図見ると大阪の大中心地が実は新大阪ですし、国土軸という日本の国土に関しても新大阪というのが非常に大事な場所になっていまして、なので全ての新幹線がここに集まるというのを国が計画し、今回、今年の10月末に国家プロジェクト以来の都市再生緊急整備地域に指定をされていますので、そういった夢のある話だということもぜひ地域の皆様にはご理解をいただきたいなと思っております。

3点目は、僕自身がすごく興味を持っているのが区役所の木質化です。ぜひいい木質化を期待しておりますので。これは脱炭素社会にも貢献できる話ですし、木の安らぎ、こういったものも与えられると思いますので、興味を持っていますので、ぜひよろしくお願いたします。

本日も、区政委員の皆様には、大変活発なご議論いただき様々なご意見いただきまして、ありがとうございます。そのご意見をぜひ区役所のほうでも反映いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

以上です。ありがとうございます。

○上杉議長 最後になりますが、石川議員、ご助言よろしくお願ひいたします。

○石川議員 市会議員の自民党の石川博紀です。

皆さん、本当に、今日もお仕事それぞれある中で、年度末の大変お忙しいところ、区政会議、ご参加いただきまして本当にありがとうございます。本日も皆さんの忌憚のないご意見に触れられて本当に感謝しております。

東淀川みらいE X P O、楽しみですね。それとともに、今年度は中止になってしまった区民まつり、コロナで開かれていないというところと、コロナの前でも雨で中止になった年もある東淀川区の区民まつりですけれども、来年度はいよいよ開催できるかなというところで大いに期待しているところでございます。

区役所、ごめんなさい、これ議事録残りますか。

○岡田課長 残ります。

○石川議員 議長、ちょっと記録を止めてもらうこと、お願いしてもいいですか。

○上杉議長 すみません。どういったことが議事録に残ると、ということをお伺いしたいんですけれども。

○石川議員 分かりました。ではあえて言わせていただきます。

西部まちづくりアクションプランのお話が出ましたけれども、阪急連続立体交差事業、4年の遅れということで、万博のときには高架は全部上がっているかなと、東西行き来が自由になるかなと非常に期待していたところ4年の遅れで、報道で、皆さん、お知りおきのところかと思えますけれども。

その高架が済んだ後の高架下利用などについて、地域の代表として各地活協から推薦を受けて構成される東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会で、まちづくり構想部会を中心に各地域にまたその話を持ち帰り、ワークショップを開くなど、まちづくりアクションプランをつくっていく中で形にしていくということで区役所から僕も説明受けていまして、恐らく皆さんも、そこに関わる阪急沿線の地域の皆様方はそのようにお聞きかと思えます。

しかしながら、ある地域で、とあるN P O法人代表を名のる方が、自分は阪急電鉄に口が利くからと、意見を言ってもらえたら今度阪急の人を連れてくるよ、若い人集めてと、あくまでこれは私的な会というところでございますけれども、それが実は、地活協が主催したワークショップであるかのように区役所は、区役所に伝えられてといひますか、区役所が認識した状態で、まちづくりアクションプラン、阪急高架下の利活用について、地域の声をどのように上げていけば大阪市として実現につなげられるのか、集められた地域の人たちが全く分からないまま、またそこに部外者も勝手に入り込んでいたような状況下で、ねじ曲げられたワークショップというのが開かれている。大きな誤解を招きかねない。先ほど笹川議員からも新大阪周辺が緊急整備地域に指定されて夢のような話になるというところで、水を差すような実態が

確認されました。

また、阪急沿線のところとそうじゃない地域といろいろあろうかと思いますが、そのようなことがもし皆さんの地域でございましたら、またお話を伺わせていただけたらと思うところがございます。

あえてこの場で、言うかどうかを控えて、議事録止めた状態であえて言おうかなと思ったところですが、それが難しいようであれば、今、このような形でお伝えさせていただきました。

本日も誠にありがとうございました。また皆様の声をしっかりと正しく形にできるように始めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

○上杉議長 本日の部会での議事は以上になります。皆様、ありがとうございました。

ここからは進行を事務局にお返しいたします。

○南係長 ありがとうございました。

参加委員の皆さん、ありがとうございました。本日いただいたご意見を踏まえ、令和5年度東淀川区運営方針を確定してまいります。3月13日月曜日には第2回本会の開催を予定しておりますので、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

これをもちまして、令和4年度東淀川区区政会議第2回安全・安心・まちづくり部会を閉会します。

本日はどうもありがとうございました。